

◆R4年度 集計結果 ○自己評価：職員15名 ○外部評価：入居者家族様等18名 瀬戸内市1名・市議会議員1名・民生委員1名 合計 21名中 回答数 17名 回答率80% R5, 1, 26

No.		タイトル	評価項目	自己評価結果	記述内容	運営推進会議で話しあった内容	外部評価結果	記述内容
I. 理念・安心と安全に基づく運営								
1		理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている② B. ほぼできている⑨ C. あまりできていない③ D. ほとんどできていない⑩	法人の基本理念とグループホームの理念を事務所等に掲示し、意識づけを行っている。職員は理念を理解し業務を遂行している。			
2		事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている⑤ B. ほぼできている④ C. あまりできていない④ D. ほとんどできていない①	コロナ渦で地域交流ができていない状況ではあるが、地域密着、地産地消の観点から地域の小売店等から食材料等を仕入れる等、なじみの関係を継続させている。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、コロナ渦での事情所の活動にご理解をいただいている。		地域の小売店の協力の元、施設内での買い物ができるよう移動販売を実施されていて、地域の交流を大切にされていました。
3		運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている② B. ほぼできている⑪ C. あまりできていない① D. ほとんどできていない⑩	R4年度は2か月に1回運営推進会議を行っている。参加者のご意見を回覧やカンファで共有し、サービス向上に活かしている。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、コロナ渦での事業所の活動にご理解をいただいている。		運営推進会議においてコロナ渦における入居者の方の状況、事業所の現状を把握することができるようになっています。
4		市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている④ B. ほぼできている⑧ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑩	管理者が介護保険上の書類申請や、行政事故報告等において市役所に出向く等、情報共有や手続き等を行っている。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告する。市職員から法人および事業所の市との連携において良好であることを確認できた。		コロナ感染の状況など事故報告書により早急に連絡があります。
5		身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている⑧ B. ほぼできている⑥ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	玄関の施錠は建物の構造上受付の窓等がなく、出入り者の管理が出来ないことから、不審者等の防犯対策も含め施錠を行っている。しかし注意しながら定期的な換気のためコロナ対策として網戸にしていることも多い。		A. 十分にできている⑪ B. ほぼできている⑤ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません①	・職員の対応は十分だと思います。 ・運営推進会議において身体拘束についての対応の報告があります。 ・施錠の状況がわかりません。

6		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている④ B. ほぼできている⑩ C. あまりできていない⑦ D. ほとんどできていない⑦	高齢者虐待防止に関する内部研修、委員会への参加等を定期的に行っている。日常的にユニット内に意識づけを促し、ストレス回避等、職員同士で声掛けを行って防止に努めている。		A. 十分にできている⑪ B. ほぼできている⑤ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません①	・ 安心です ・ 毎年の内部研修の議題に「高齢者虐待研修」が入っています。 ・ 研修を行って、よく学ばれていると思います。
7		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている① B. ほぼできている⑬ C. あまりできていない⑦ D. ほとんどできていない⑦	成年後見制度を利用している入居者様もおられ、後見人等との情報共有や日常的な連携等について管理者、ユニット職員共にかかわっている。			
8		契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている⑧ B. ほぼできている⑥ C. あまりできていない⑦ D. ほとんどできていない⑦	管理者は入居や転居等に際し、契約書・重要事項説明書に則り、必要な説明を行うとともに、疑問やご不安を解消できるよう努めている。			
9		運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている⑤ B. ほぼできている⑨ C. あまりできていない⑦ D. ほとんどできていない⑦	毎月の家族通信等を活用して入居者様の状況報告、お知らせ事項等を行うことで、ご意見や要望を受け付けやすくしている。2か月ごとの運営推進会議に参加していただき、不参加の方にも資料を送付して情報共有を行っている。		A. 十分にできている⑭ B. ほぼできている② C. あまりできていない D. ほとんどできていない ①	・ 利用者や家族のことを察して下さり、いつも楽しく状況報告をしてくださるので家族も安心しています。 ・ 毎月の通信でよくわかります。 ・ 運営推進会議において利用者の状況報告や意見交換の時間もあります。 ・ いつも個別のグループホーム通信を送って下さり、本人の様子がよくわかります。
10		運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている④ B. ほぼできている⑨ C. あまりできていない① D. ほとんどできていない⑦	毎月、ユニット内カンファレンスを行っている。グループホームの意見や提案を法人の在宅部会議や介護部会議等で情報共有も行い、代表者が参加する運営会議につなげている。			
11		就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている① B. ほぼできている⑪ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑦	人事考課等において各職員の個別面談を行い、状況を把握して代表者に報告すること等で改善に努めている。 コロナ感染症では職員不足となり、心身共にストレスを感じる職員も発生した。		A. 十分にできている② B. ほぼできている④ C. あまりできていない① D. ほとんどできていない わかりません⑩	コロナ感染により、職員不足になった際も、休みやすい環境を整えておられました。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている② B. ほぼできている⑩ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑩	毎月のカンファレンスを利用して各種内部研修を行っている。コロナ渦で外部研修等が制限され、参加しづらい状況であるが、オンライン研修も活用する。実践者研修等、業務上必要な研修に関しては参加できている。		A. 十分にできている③ B. ほぼできている④ C. あまりできていない① D. ほとんどできていない⑨ わかりません⑨	毎月研修をしていて、職員の資質向上に努めておられます。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている⑩ B. ほぼできている⑨ C. あまりできていない⑤ D. ほとんどできていない⑩	必要な外部研修等での情報交換や、日常的な業務において同業者等との連携・活動を通じ、知識や意識を向上させる機会を得ている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている① B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない① D. ほとんどできていない⑩	地域の出来事や昔の行事の話を聞くなど職員側が学ぶことも多い。生活の中でも先人の知恵を得る機会になっている。日常的にも家事のお手伝いや季節の壁紙作成等を協力しあっている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている⑩ B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑩	コロナ渦でご家族や親戚等との窓越し面会やオンライン面会を行っている。外部者の受け入れや外出が出来ないことが多いが、施設周辺の散歩等で近所の方への声かけ等を行っている。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、コロナ渦での事業所の活動にご理解をいただいている。		運営推進会議においてコロナ渦における外出機会の確保の話がありました。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている① B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない① D. ほとんどできていない⑩	日常的に、本人らしさに寄り添った対応を心掛け、要望等の傾聴対応を行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている① B. ほぼできている⑬ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	初回面談。契約の際にも本人やご家族から生活歴についてアセスメントを行い、カンファレンスを経てケアプランに反映させ、ユニット内で共有を行っている。実施後にも定期的にモニタリングを行っている。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、事業所の活動内容にご理解をいただいている。	A. 十分にできている⑨ B. ほぼできている⑤ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません③	・よくしていただいています。 ・ご家族より、利用者のことを理解して対応して下さっているという意見を聞きました。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている③ B. ほぼできている⑪ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	電子ケアカルテや健康管理表を利用して、個別の記録【生活状況や医療状況等】を整備し情報共有を行うことで、日常記録やカンファレンス等での意見交換もスムーズになっている。		A. 充分にできている⑥ B. ほぼできている⑥ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません⑤	・よくしていただいています。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている① B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない① D. ほとんどできていない⑩	毎月のカンファレンスにおいて、その時々にも生まれるニーズに寄り添った支援やサービスが行えるよう情報共有した実践に努めている。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、コロナ渦での事業所の活動にご理解をいただいている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている② B. ほぼできている⑦ C. あまりできていない⑤ D. ほとんどできていない⑩	地域密着、地産地消の観点からも地域の小売店等から食材料等を仕入れる等、ご利用者様の暮らし、なじみの関係を継続させている。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、コロナ渦での事業所の活動にご理解をいただいている。		地域の小売店と協同して移動販売を実施されていました。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている⑩ B. ほぼできている④ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	嘱託医の往診、家族による受診等で、かかりつけ医師や医療機関、日常的に看護師とも十分に連携を行いながら入居者を支えている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている⑧ B. ほぼできている⑥ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	必要性に応じた入院調整と共に、医療連携シートを持参、入院医療機関や地域連携室等との情報共有を行い、入院期間においても病院等連携を適切に行えるよう努めている。		A. 充分にできている⑦ B. ほぼできている③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません⑦	入院期間に病院と連携を取って、家族に連絡して下さり助かりました。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている④ B. ほぼできている⑩ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	重要事項説明及び契約時に看取りに関する指針について説明を行う。身元引受人への確認書についても記入を依頼して意思の確認を行っている。コロナ陽性者の対応時にはご家族と情報共有のもと、保健所への情報提出を行っている。		A. 充分にできている⑤ B. ほぼできている⑤ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません⑦	入院期間に病院と連携を取って、家族に連絡して下さり助かりました。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている② B. ほぼできている⑨ C. あまりできていない③ D. ほとんどできていない⑩	緊急時マニュアルを作成して連絡体制を明確化、カンファや内部研修で共有をしている。また日常的に医師や看護師等から今後の病変等の予測も含め、緊急対応時等の指導を受けている。			緊急時対応について研修をされています。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている③ B. ほぼできている⑪ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	年間計画を立て、年 5 回定期的に日中・夜間想定等の避難訓練を実施し、必要事項について共有している。	1 月 26 日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告した。通常の避難訓練に加え、1 月のコロナ感染症発生【利用者 2 名】経緯等の説明では、発生後の感染拡大防止の取り組み等も含めて説明し、ご理解をいただいている。	A. 充分にできている④ B. ほぼできている⑥ C. あまりできていない D. ほとんどできていないわかりません⑦	・緊急時の利用者の行動を把握するためにも、今後も避難訓練等を行ってほしいです。 ・運営推進会議の中で避難訓練について状況報告がありました。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている① B. ほぼできている⑬ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	高齢者虐待防止に関する内部研修、委員会への参加等を定期的に行うとともに、日常的にユニット内に意識づけを促している。職員同士の声掛けにより予防に努めている。		A. 充分にできている⑤ B. ほぼできている⑥ C. あまりできていない D. ほとんどできていないわかりません⑥	・利用者の個々の性格を十分理解し、家族でもできない思いやりのある対応をしてくれている。 ・高齢者虐待防止の研修を毎年されていて、職員への意識づけが出来ておられます。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている① B. ほぼできている⑩ C. あまりできていない③ D. ほとんどできていない⑩	日常的な取り組みやカンファレンス等において、入居者様ごとのペースや意向について共有し、ケアの実践に取り入れているが、体操や食事時間等では、集団生活の要素が高くなっている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている① B. ほぼできている⑩ C. あまりできていない③ D. ほとんどできていない⑩	ユニット内で調理を行うことで、食事が出来上がる音やにおいを感じていただく。嚥下体操等を毎回食事前に行うことで時間の感覚や安全に食することを目指し行っている。ミキサーや刻み食の対応もしている。感染予防のため、調理等を一緒に作る機会が減っているが、玉ねぎの皮むき、大根おろし等、出来ることをしてもらっている。		A. 充分にできている⑥ B. ほぼできている⑦ C. あまりできていない D. ほとんどできていないわかりません④	ミキサー食の対応、大変助かります。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている② B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	入居者の状態に応じてミキサー食も含めて、各ユニット内で調理した料理を提供している。食事量や水分量を記載することで、栄養状態の把握に努めている			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている③ B. ほぼできている⑪ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	毎食後に口腔ケアを行い、毎日義歯洗浄剤を用いている。歯科衛生士と連携を行って異常があれば受診等につなげている。		A. 充分にできている④ B. ほぼできている⑧ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません⑤	十分気を付けてくださっています。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている② B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	日常的に排便、排尿チェックを行っており、水分補給にも努めている。便秘時には医療と連携して排便コントロール等を行っている。本人の排泄状況に応じた福祉用具の活用を行えるよう、こまめに情報共有を行っている。		A. 充分にできている⑧ B. ほぼできている⑤ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません④	おむつ交換やチェック、夜も大変だと思います。 ありがとうございます。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている① B. ほぼできている⑪ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑩	通常週3回の入浴介助を行っている。身体状況に応じて清拭等を組み込み体の清潔を保持できるよう支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている③ B. ほぼできている⑪ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	疲れやすい方には昼寝を取り入れる等の取り組みを行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている⑥ B. ほぼできている⑧ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	日常的に医師や看護師等から指導を受けて服薬援助を行っている。服薬前の呼称と日付等の確認を徹底し、誤薬を予防している。		A. 充分にできている⑨ B. ほぼできている③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません⑤	・看護師も利用者個々の状況を把握してくれていて助かります。 ・よく気を付けて下さり助かります。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている① B. ほぼできている⑪ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑩	その人らしさを尊重しながら、できる活動を見極めて、小さなことでも役割を持っていただくことで、楽しみや存在意識を高められるよう援助を行っている。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、コロナ渦での事業所の活動にご理解をいただいている。		換気のために窓を開ける人、タオルをたたむ人、利用者自ら役割を持っていると報告がありました。

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている④ B. ほぼできている⑦ C. あまりできていない③ D. ほとんどできていない⑩	施設周辺の散歩・日光浴等は時々行えているが、コロナ渦や気候からなかなか遠出での実施ができにくい。R4 年度 は紅葉ドライブに牛窓近郊に出かけ、リフレッシュすることが出来ている。	1 月 26 日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、個々人の要望に応じた外出支援が困難な状況ではあるが、コロナ渦での事業所の活動にご理解をいただいている。		近場のドライブについての報告があり、コロナ渦における外出支援の報告がありました。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている② B. ほぼできている③ C. あまりできていない⑨ D. ほとんどできていない⑩	ものとられ妄想、収集癖等によるトラブルを予防するため、基本的に本人が現金を扱う支援はできにくい状況にある。現金を持たないことの不安等については傾聴対応で説明し解消に努めている。ご家族等の連携により必要な物を得られるよう援助を行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている⑧ B. ほぼできている④ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑩	コロナ渦でオンラインでの面会機会の創出を推奨し実行しているが、困難な方には電話で会話していただく等の配慮を行っている。また年賀状に一言メッセージを加えていただく等のご家族への懸け橋を行っている。			コロナ感染者の状況に応じた面会の仕方を工夫されていました
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている⑩ B. ほぼできている⑬ C. あまりできていない① D. ほとんどできていない⑩	歩行時等の安全確保を目的に環境整備を行っている。またコロナ渦でありテーブル上にはパーテーションを置いて仕切っている。季節の飾り物を作成して展示するなど時々季節感を感じていただく工夫を行っている。		A. 十分にできている⑥ B. ほぼできている⑥ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません⑤	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている① B. ほぼできている⑪ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑩	日常的に傾聴対応を行って入居者の思いや意向等の把握や実践を行えるよう努めている。			

41			本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている① B. ほぼできている⑩ C. あまりできていない③ D. ほとんどできていない⑨	日常的な取り組みやユニットカンファレンス等において、入居者様の意向等を共有し、ケアに取り入れている。			
42			本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている② B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑨	日常的に医師や看護師との医療連携を行っており、必要な支援につなげている。		A. 十分にできている⑦ B. ほぼできている⑦ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません③	大変助かります 事故報告書にて医療機関との連携が図れています。
43		生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている⑩ B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑨	日常的な取り組みやユニットカンファレンス等において、入居者様のご自宅での習慣や意向等を共有して、ケアに取り入れている。			
44			本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができる	A. 十分にできている② B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑨	入居時に本人及びご家族への説明時にも暮らしの継続について説明し、本人のこだわりや、必要物品についての持ち込みを推奨している。貴重品等、破損に対する説明も行い理解を得た上で考慮していただいている。		A. 十分にできている⑦ B. ほぼできている⑤ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません⑤	
45			本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 十分にできている⑩ B. ほぼできている⑦ C. あまりできていない⑤ D. ほとんどできていない②	コロナ渦のため外部へ出かけての活動は制限されているが、事業所内でできている行事へ参加して、各々が楽しむことができる。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、個々人の要望に応じた外出支援が困難な状況ではあるが、コロナ渦での事業所の活動にご理解をいただいている。		季節に応じた行事をされています。
46		本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている① B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない① D. ほとんどできていない⑨	その人らしさを尊重しながら、できる活動を見極めて役割を持っていただくことで存在意識を高められるよう援助を行っている。			
47			本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている⑩ B. ほぼできている⑫ C. あまりできていない② D. ほとんどできていない⑨	コロナ渦で、人との活動が制限されることもあるが、友人や顔なじみ同志として共に過ごせるよう援助をしている。		A. 十分にできている⑥ B. ほぼできている④ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません⑦	

48			本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている⑩ B. ほぼできている② C. あまりできていない⑦ D. ほとんどできていない⑤	現在はコロナ渦のため外部との活動が実現できにくい状況になっているが、散歩の際に職員と共に近所の方に挨拶を行う等をしている。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合い、個々人の要望に応じた外出支援が困難な状況ではあるが、コロナ渦での事業所の活動にご理解をいただいている。		
49	総合		本人は、このGHにいてことで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている⑩ B. ほぼできている⑭ C. あまりできていない⑩ D. ほとんどできていない⑩	コロナ渦で閉塞感や不自由に感じることも多いと思われるが、現況出来る支援を行っている。地域に開かれた施設としての活動や、その人らしさを尊重したケアを充実させて、安心して過ごしていただけるよう努めていく。	1月26日行政、民生委員、ご家族等、職員による運営推進会議を開催し報告の上話し合った。長期コロナ渦で 個々人の要望に応じた支援等において課題が残る状況ではあるが、ご家族等から「安心してお任せしている」とのお言葉をいただくなど、事業所の活動にご理解をいただいている。	A. 十分にできている⑥ B. ほぼできている⑦ C. あまりできていない D. ほとんどできていない わかりません④	家族以上に利用者を理解し、いろいろ考えて対応してくれるので深く感謝しています。 ご家族の方から「大変助かっています」との声もあり、写真等からも利用者の方が在宅と変わらない暮らしをされていることがわかります。